

生活が参院選に

太田和美氏擁立

小沢氏「千葉は最重点区」

動く

ちば選挙

生活の党の小沢一郎代表が29日、県庁で記者会見し、前衆院議員の太田和美氏(33)を参院選千葉選挙区



太田和美氏(右)の擁立を発表する小沢一郎・生活の党代表(県庁)

に公認候補として擁立すると発表した。自民が2人擁立し、民主のほか維新、みんななども候補を立てる方針の千葉選挙区が混戦模様であるとの認識を示したうえで「最重点選挙区と考えている」と述べた。

太田氏は柏市出身。2005年に松戸市選挙区の補選で県議に当選。翌年には千葉7区の補選で衆院議員に初当選した。09年の総選挙では福島2区から立候補して当選したが、昨年春れの総選挙で落選した。

立候補の動機を太田氏は「福島で経験した原子力災害の現状を郷里の千葉に伝えたい。今の政権、今の原子力政策が続くことがいいことなのかを訴えたい」と語った。事務所は柏か松戸

に設け、東葛地域を拠点、活動する考えを示した。

生活は27日に県連を発足させ、岡島一正・前衆院議員が代表に就任した。支部は2区、3区、8区、11区に設けた。岡島氏は「支部のある4選挙区を中心に支持を広げたい。参院選の選挙区の中で千葉は最も可能性がある。他党との選挙協力は、もう協議する段階は終わった」と話した。

生活の前身だった日本未来の党に参加していた7区の内山晃氏は「幅広い党との連携をとる」との方針で、現状では合流しないという。

5/30
朝日新聞